

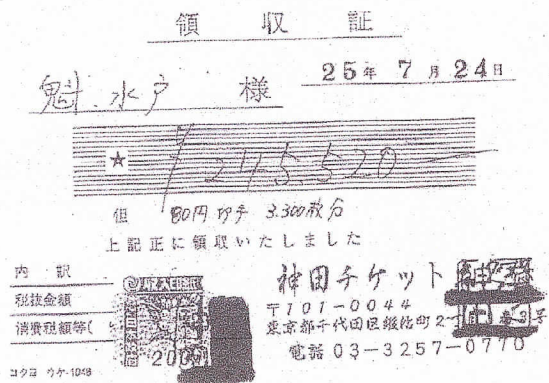
# 敬天千里眼情報

検証3

## 知性も理性も感じられない地方議員の体たらく 水戸市議会議員・松本勝久先生のご都合主義 ⑭

読売新聞の取材に対し、切手を販売した男性は「松本市議に販売した。領収証の控えは無い」と話したそうだけ  
ど、280万円分もの高額な取引をしておきながら、控えがないというのは如何なものか。

郵便切手類販売所が切手を販売した際は領収証に代わる「販売証明書」も発行されるのではないのか？例え  
ば、議長ポスト争いで離散した会派・魁水戸が切手を購入した時の領収証は「郵便切手類販売証明証」である。



この魁水戸も、地元への貢献の為に水戸市内の郵便局  
で切手を購入すれば良いものを、わざわざ東京都内の  
金券ショップで購入している領収証がある。  
また、収入印紙が貼ってあるものと無いものがあるの  
は何でだろう？

日本郵政は「同一差出人が一度に100通以上を料金別納や料金後納な  
どで郵送した場合、差出と配達が同一の配達郵便局の担当する地域内  
で行われるなどすれば、切手を貼って送るよりも一通当たりの料金が安  
くなる」としている。なぜ地元の郵便局で別納にしないのか？

松カツ親分は、その理由を「別納より切手を貼った方が温かみがあっ  
て良い」「選挙をやる者はそういう気遣いがあるって当然だ」と読売の取材  
に答えている。

しかし、元兵庫県議の野々村号泣事件に端を発し、全国の地方議会で  
金券ショップで切手を大量購入し、再び換金しているのではないかとい  
う疑念が持たれているのが現状だ。

だから、当社の隣町さいたま市の議会では、先日15日、切手の大量購  
入を禁止し料金別納郵便の使用を原則とする方針と政務調査費の収支報  
告書を市議会ホームページで公開することを発表した。

水戸市議会は見習うべきだ。  
それにしても、ウチワだのベビー服だの観劇だの、国会議員も地方議員  
も低レベルな賑わいを見せている。この国の行く末は如何に。つづく。

(平成26年)10月16日(木曜日)

さいたま市議会

### 政務費で大量切手禁止

さいたま市議会が  
運用指針改定へHPに収支報告書

地方議員の政務活動費(政務費)をめぐる問題事  
例が全国で相次いでいるこ  
とを受け、さいたま市議会  
は15日、政務費の運用指針  
を来年4月に改定すると発  
表した。切手の大量購入を  
禁止するほか、収支報告書  
を市議会ホームページで公  
開する。

郵便を利用する場合は料  
金別納郵便の使用を原則と  
する。

し、やむを得ず切手を購入  
した場合は整理簿の作成を  
義務づける。今年度の下期  
(10～3月)から対象とす  
る。収支報告書は申請を受  
けた市議会局が開示してい  
たが、12月中旬をめどに今  
年度上期分(4～9月)を  
ホームページで閲覧できる  
ようにする。

敬天新聞社は、世の中に蔓延る不条理を糾します。

<http://www.keiten.net>